

PC建協だより

各発注者との 意見交換会始まる

7月21日の中国地方整備局を皮切りに全国の国土交通省地方整備局と北海道開発局、沖縄総合事務局の合計10の発注者と意見交換会が行われます。8月末までの状況は、中国地整、四国地整(7/27)、九州地整(8/3)、東北地整(8/24)、中部地整(8/27)の5ヶ所が終了しました。

今後、9月から10月中旬にかけて残りの3地方整備局および沖縄総合事務局、北海道開発局と順次開催していく予定です。

会議では、PC建協の取り組みについての報告とPC建協からの提案を行い、各発注者と意見交換を行っています。地域に応じて内容を変えています。また、自由討議の時間を設ける場合もあります。

PC建協からの報告

- ① 担い手確保の取り組み
- ・会員企業の実態調査

- ・明日の担い手確保のための取り組み
- ・生産性向上に向けての施工実態調査(工期設定、施工条件、現場技術力・人材育成、労働環境・労働条件)

- ② 安心して働ける産業構造への対応
- ・生産システムの合理化・高度化に向けての取り組み

- ・品質確保、長寿命化に向けての取り組み

- ・品質パトロールの取り組み、統一安

- ③ インフラ長寿命化への取り組み
- ・資格制度の有効活用
- ・維持保全技術への取り組み

PC建協からの提案

- ① 生産性の向上

- ・効率のかつ柔軟な工期の設定
- ・月別工事量および管内年度工事量の平準化

- ② 生産システムの合理化・高度化

- ・担い手不足の解決および品質確保・向上が図れるプレキャスト技術を活用できる環境整備の提案

- ・維持更新対策としてのプレキャストPC床版による全面取替えの環境整備

- ③ インフラ長寿命化への対応
- ・適切な入札制度の導入
- ・PC構造物の維持修繕工事におけるPC技士、コンクリート構造診断士の活用について



中国地整との意見交換会

第5回業務報告会 開催される

7月29日ホテルグランドアーク半蔵門において、第5回業務報告会を開催しました。

この報告会は「会員各社の共益の確保」を目的として、協会活動の成果を会員全体にフィードバックするため実施しているものです。報告会では、茅野国道・防災課長(現中部地方整備局長)の祝辞に続き、PC建協からは、

① 共同研究委員会報告

「低炭素型セメント結合材の利用技術に関する共同研究」

「撤去橋梁を用いた既設PC橋の診断技術高度化に関する研究」

② 最近の保全補修部会の活動について

③ 橋梁工事の防火対策資料の作成

④ 実務に役立つPC建築設計の

「Q&A」について

の4件を発表しました。

その後、(株)高速道路総合技術研究所道路研究部橋梁研究室長広瀬剛様から「NEXCOにおける大規模更新・修繕」の特別講演がありました。

参加者は、発注者をはじめ会員企業、賛助会員企業を含め、総勢180名となりました。

また、報告・特別講演とも参加者から多数の活発な質疑応答が交わされました。

第23回PC建築技術講習会開催

PC建築技術の普及・発展を目的とし、第23回PC建築技術講習会が、平成27年6月18日に建築会館大ホールで開催されました。PCaPC工法で施工された4作品を担当した建築設計事務所の意匠・構造設計者から紹介されました。講習会は、官公庁・大学・設計事務所・ゼネコン等から幅広く、276名の参加者を迎え盛大に終える事ができました。講習会で講演された演題と講師は次の通りです。

● 大船渡市魚市場

(株)梓設計 後藤二郎

「建設中に発生した東日本大震災からの復旧」

● 第一倉庫冷蔵岩槻物流センター

(株)渡辺建築事務所

廣森陸祐・川原敏男

「杭頭免震構法によるPCaPC造大型冷凍冷蔵倉庫」

● 那覇空港新国際線旅客ターミナルビル

(株)梓設計 塚田良仁

「曲面大屋根を支えるPCaPCダブルガーター」

(株)安井建築設計事務所 秋田智

● 喜多方市新庁舎

NASCA 橋本剛

(株)オーク構造設計 須藤崇
「地域性を表徴する構造―組石状の耐震壁につつまれた建築―」



建築技術講習会風景

第3回定時総会／60周年記念講演会開催される

平成27年度第3回定時総会と60周年記念講演会・祝賀会を5月21日、グラウンドアーク半蔵門で開催したところ、総勢450余名の方の参加がありました。

総会では平成26年度事業報告・決算報告及び役員改選について承認されました。また、平成18年度から26年度の功績表彰、功労表彰、特別表彰が行われました。

60周年記念行事の中で講演会が開催され、国土交通省の徳山日出男技監

(現事務次官)の祝辞に続き、藤井聡京大大学院教授が「政府における国土強靱化の展開」と題して講演が行われました。その中で官民が一体となった取り組みの重要性を指摘されました。講演会後に開かれた祝賀会では則久会長が、「創立60周年は先人たちのたゆまぬ努力の賜物と会員の支援・協力があってのこと。還暦を過ぎて、ますます元気なPC建協を目指して取り組んでいく。また、担い手確保を今後の重点課題と位置づけ、広報活動や市場対話活動を推進していく」と挨拶しました。



第3回定時総会



60周年記念講演会

各地で出前講座開催される

(関東支部)

PC建協では、多くの学生にPCに対し興味を持ってもらうことを目的とした講座を開催しています。

関東支部では、6月22日に茨城大学都市システム工学科の学生17名を対象に「出前講座」を行いました。

講義は、①PC建協の紹介②プレストレストコンクリートの概要③プレストレストコンクリート橋の計画④PC鋼材の緊張に関して行いました。

緊張に関しての講義では、実際にジャッキに触れながらの体験学習を行うなど、PCへの理解が深まるように工夫をしています。



ジャッキに触れながらの体験学習

(北陸支部)

北陸支部では、平成27年6月2日に、金沢市立工業高等学校土木科1〜3年生の119名を対象に出前講座を行いました。

講義は、「プレストレストコンクリート橋の概要と設計」というタイトルで、PC橋の概要や身近なPC構造物の紹介し、学校側の要望によりPC橋の設計の講義も行いました。

講座後のアンケート結果では、約97%の生徒が「有意義であった」、約64%の生徒が「将来の進路の選択に参考になった」という回答がありました。



PC 専門家派遣風景

現場見学会開催

各地でPC建協支部が主催者となって大学、高専の学生を対象にした現場見学会が開催されています。



橋面上を見学

(四国支部)

四国支部では、PC構造物の建設過程や産業としての魅力の理解、併せて学習の場の提供、次代の建設産業への入職促進の一助となることを目的として、平成27年5月25日に、香川高等専門学校建設環境工学科の生徒約40名と教職員を対象として「県道円座香南線道路改築工事(橋梁上

部工)(第3工区)で現場見学会を開催しました。見学会当日は梅雨入り前で天候もよく、参加者は発注者からの事業説明と現場説明のあと、施工中の構造物や建設機材を見学しました。



事業説明を受ける

(関西支部)

関西支部では、平成27年7月9日に大阪府八尾土木事務所の手および中堅職員を対象に「PC橋梁の基礎知識の習得および施工現場研修会」を目的とした現場見学会をネクスコ西日本関西支社発注の新名神武庫川橋で開催しました。

現場見学会は、平成27年度ではこの他中部支部で6月実施しています。



箱桁内部



武庫川橋